

栃木市男女共同参画都市宣言について

(解 説)

(全体の構成)

→ あらゆる世代の方にわかりやすいように、また、集会などの開催時に全員で唱和できるように、前文と箇条書きの本文の形式とし、長い文にならないよう、また、市民の方々にもよりわかりやすい文言を使うように工夫しました。

(内容)

→ 「男女共同参画都市宣言に関する懇談会」での意見及び本市の男女共同参画プランを参考に、前文では本市の地域特性と、「栃木市総合計画」(平成27年3月策定)や「とちぎ市男女共同参画プラン」における本市の将来都市像を、本文では、その将来像を実現するための3つの目標を掲げました。

また、男女共同参画社会のまちづくりの主体は、市民と行政であるので、文の初めは「わたしたちは」という表現に、文末を「まちをつくります」という表現に統一して、目標として築いていきたいという思いを込めました。

- 1 わたしたちは、^{ひと}女と^{ひと}男がその個性と能力を十分に発揮することができ、多様な生き方を尊重するまちをつくります

「とちぎ市男女共同参画プラン」の基本目標①「意識づくり」の「施策の方向」に挙げられている「男女共同参画意識の醸成と慣行の見直し」を表

わしています。

男女共同参画社会を実現するためには、職場や家庭、地域社会などに依然として根強く残っている「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識や、性別に対する価値観（例えば、決断するのは男性、従うのが女性）を解消し、それらに基づく社会制度や慣行^{かんこう}を見直さなければなりません。

1 では、上述したような意識や価値観にとらわれない生き方、また、現在は単純に男女と括り切れない性的マイノリティーの方々がいて、そのような生き方も併せ、様々な生き方を尊重する社会、多様性を受け入れることができる社会をつくること、誰もが生きやすい男女共同参画社会の実現につながります。

- 1 わたしたちは、女^{ひと}と男^{ひと}が家庭、学校、職場、地域などのあらゆる分野で、平等に参画し、協働するまちをつくります

「とちぎ市の男女共同参画プラン」の基本目標②「環境づくり」の「政策・方針・決定の場への女性の参画の促進」・「就労の場における男女共同参画の推進」・「家庭生活とその他の活動の両立支援」を表わしています。

女性の社会進出が進んでいるにもかかわらず、政策・方針決定の場への女性の参画は十分とはいえず、豊かで活力あるまちづくりを進めるためには、事業所・地域活動団体等、意思決定の場への女性参画の拡大を行い、女性と男性が平等に参画し、ともに能力と活力を生かして、協働することが必要です。

また、依然として家事や子育てや介護の多くを女性が担っている状況を変えるため、固定的性別役割分担意識の解消を図るとともに、男性の家庭生活

への参加促進の取組を進める必要があります。

- 1 わたしたちは、女と男が地域で共に支え合い、協力し合って、すべての人が安心安全に暮らすことができるまちをつくります

「とちぎ市の男女共同参画プラン」の基本目標③「連携づくり」の「男女共同参画の視点からの地域活動の推進」を表わしています。

地域において、高齢化・単身世帯の増加など様々な問題が生じつつあり、地域の絆が希薄化した今、市民活動の重要性が益々高まっていて、それを成立させるためには女性と男性が対等な立場で共に参画し、まちづくりや防災分野などに男女共同参画の視点を反映することが必要です。

このことは、東日本大震災後、当時の避難所運営等の反省をもとに様々な場面で言われており、子育て期や高齢期を含む、すべての人が安心して暮らすために、女性と男性が地域で共に参画し、行動することの必要性が、非常に高まっています。